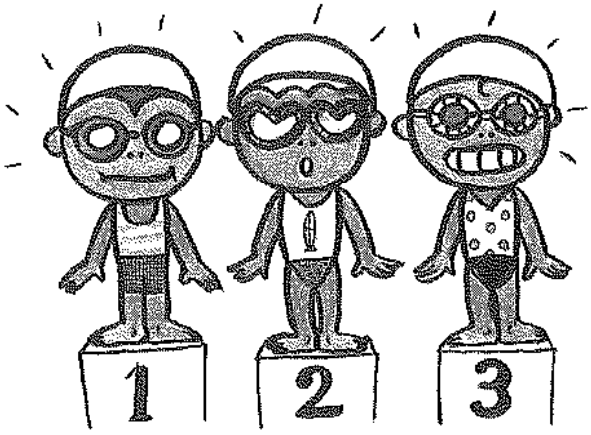
事務局ニュース12-NO.2 2012. 8. 2 埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-147-1藤本ビル３Ｆ
TEL048-644-1571 FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Ｅメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

「全国研in埼玉」（10月６・7日）まで２ヶ月余

参加を広げるとりくみを進めましょう（１クラブ10人を目標に）！

①県連協 第２回代表委員会は、９月８日（土）
②「全国研in埼玉」第２回クラブ担当者集会は、９月９日（日）



■ 県連協からの報告（^_^）v

１．埼玉県の動き

（１）県少子政策課「平成24年度埼玉県放課後児童クラブ環境整備事業費補助金に係る追加交付申請について（通知）」（６月29日）を発出。地域で活用を！（※別添ｱｲﾎﾟﾘｰ）

県少子政策課より上記の通知が出されました。

今年度の補助のうち「放課後児童クラブ環境整備事業費」予算（予算計上額12,662万円）が「だいぶ活用されていない」とのことで、市町村に追加申請のお願いをしています。８月末が県への申請の締め切りです。市町村に活用を促して下さい（※費用の３分の１は市町村負担があります）。

「放課後児童クラブ環境改善事業」は、既存のクラブであっても、「子どもの安心安全」の視点から、列記されている備品に活用できます。「放課後児童クラブ障害児受入促進事業」も、すでに障害児を受け入れているクラブにおいて列記されているような改修や備品について活用できます。

７月の代表委員会にて「締め切りは８月末だが、実際には補正予算をかける９月議会を経ないと予算執行が困難ではないか？」との質問があり、県庁に確かめたところ、「百万単位の額の多いものについてはその通りだが、市町村には『執行残』（施行されなくて残っている予算）もあるので、それも活用して申請をしてほしい」とのことでした。

（2）平成24年度障害児担当指導員研修会が開催されました

標記研修会（埼玉県・県連協共催）が開催され、両会場で358人の参加がありました。

７月９日（月）　於：創業ベンチャー支援センター　／７月10日（火）　於：行田市商工会館

【テーマ・内容】「特別な配慮を必要とする児童の理解と支援」

【講師】木村雅昭氏（埼玉大学教育学部付属特別支援学校教諭）

（3）今年の指導員学校は、「全国研in埼玉」後、11月25日（日）に開催されます

埼玉県と県連協とで共催する「平成24年度放課後児童クラブ指導員研修会（第40回学童保育指導員学校）」の日程が決まりました。会場は、埼玉県立大学です。

例年は10中旬から11月初旬に開催されていましたが、「全国研in埼玉」の日程との関係でこのように日程になりました。

２．　県連協のとりくみ

（1）第27回学童保育基礎講座を開催

標記研修会に浦和会場328人、深谷会場に100人、計428人の参加がありました。

６月13日（水）　於：浦和コミュニティセンター　／６月21日（木）　於：深谷市公民館

【テーマ】「学童保育は働く親と子どもの安全・安心の居場所～改めて、指導員の仕事・役割、生活づくりで大切にしたいことを考える～」

浦和会場　【講師】永松範子さん（横須賀市指導員、全国学童保育連絡協議会副会長）

深谷会場　【講師】小澤明子さん（県指導員連絡協議会事務局、さいたま市元指導員）

（2）第１回代表委員会を開催　７月７日（土）　於：さいたま市産業文化センター

10市21人の参加がありました。参加各地から、行政と地域連協・クラブの動きと「全国研in埼玉」へのとりくみの状況を報告していただきました。県連協運営委員会から「2012年度県連協方針の重点」の説明を行い、意見をいただきました。

３．　国の動き

（1）「子ども・子育て新システム」をめぐる動き

「子ども・子育て新システム」関連法案は、与党・民主党が自民・公明両党からの修正意見を受け、「3党合意」にもとづいて一部修正され、消費税増税法案や社会保障制度改革推進法案とともに、６月26日に衆議院で可決され、参議院に送付されました。

３党合意では、「市町村が保育の実施義務を引き続き担うことの措置として、民間保育所については現行どおり」として、児童福祉法24条第１項は「市町村は」「保育を必要とする場合において」「保育所において保育しなければならない」と修正されました。しかし同条２項に規定される認定こども園や家庭的保育事業等における保育については修正前のままです。ですから、市町村の保育実施義務は保育所利用についてのみ限定的・特例的なものとなったと言えます。

学童保育に関わる部分は、元のままままとなっています。「新システム」関連法案と関わって提案されている児童福祉法の部分も元のままです（**※児童福祉法改正案は『埼玉の学童ほいく～2012年度資料集』所収**）。「新システム」の内容な動向については、県連協として今後、講師を呼ぶなどして必要な学習の場を設ける予定です。

（２）厚生労働省の動き　学童保育（放課後児童クラブ）の改正事項（案）を提出

厚生労働省は、**「放課後児童クラブの主な改正事項（案）」**を７月初旬、発表しました（**※別添②**）。児童福祉法改正案を具体的に説明したものです。

①対象児童は「留守家庭の小学生」と６年生まで拡大されています。

②市町村が定める条例制定の内容として「従うべき基準」は、「従事する者及び員数」、「参酌すべき基準」は、「施設、開設日数、時間など」としています。

③「学校の余裕教室などの市町村の公有財産の貸し付け」を明記することにより「事業実施の促進」するとしています。

④市町村の「計画推進の責務」として、「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、「区域ごとの事業量の見込みや提供体制の確保」を行うことを明記しています。

⑤「放課後児童健全育成事業に従事する者の処遇改善に資するための施策について検討を加え、所要の措置を講ずる」ことも明記しています。

県連協からお知らせ・お願い　（^0^）

１．「全国研in埼玉」（10月6・7日）に関するお知らせ・お願いです

（１）県内の申し込みは、極力８月末までにお願いします

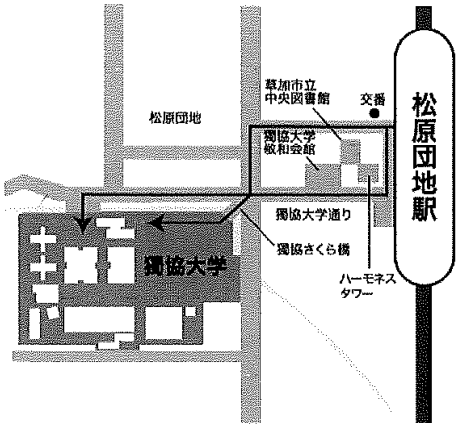
「全国研in埼玉」は10月6・７日です。間際に申し込みが来ると、事務局が大変混乱します。県内は極力８月末までに申し込みをすませましょう。申し込みはできるだけ、クラブ単位、連絡協議会（学童保育の会）単位でお願いします。

※全体会講師の広木克行さん（大坂千代田短期大学教授）の紹介資料を添付しました（※ﾗｲﾄﾋﾟﾝｸ）。

（２）「全国研in埼玉」第２回クラブ代表者集会にご参加を！

「全国研in埼玉」ほぼ１ヶ月前に、準備状況の最終確認を行い、県内3,500人参加に向けた最後の意思統一を行います。

クラブ担当者、実行委員、そして地域連協やクラブ役員等はご参加下さい。



□日時：９月９日（日）12:45開場　13:00開会

□会場：獨協大学４棟４階407教室

※東武スカイツリーライン「松原団地駅」西口下車徒歩5分

□子どもの保育場所も用意します　３歳以上

※事前に（８月末まで）お申し込み下さい。無料。

□内容

①オープニング「全国研in埼玉」**「歓迎行事」の実演**

・けん玉ダンス　・学童保育応援コール

②**記念講演者・広木克行氏の紹介ビデオ上映**（※深谷市内で６月に行った講演ダイジェスト）

③実行委員会から各部の進行状況の紹介　会場部、広報部、企画部、事務局

④各地から参加組織等のとりくみ状況の報告

⑤**他都県から「全国研in埼玉」へエール**

□古谷健太さん（三多摩学童保育連絡協議会事務局）　□その他

⑥ミニ講演「私と学童保育、私と全国研」【講師】山本博美さん（草加市指導員、前全国連協会長）
⑦フィナーレ　学童保育応援コール　薄井実行委員長
＊集会終了後、「ご苦労様会」の練習　松原団地駅前

（３）参加者を増やすとりくみと併せて、以下のことを引き続きお願いします

1.「クラブ担当者」を選出していないクラブは選出を。９月９日には獨協大学へお越し下さい。
※「クラブ担当者」とは？「全国研in埼玉」に関する情報をクラブ内で知らせ、参加を呼びかける。

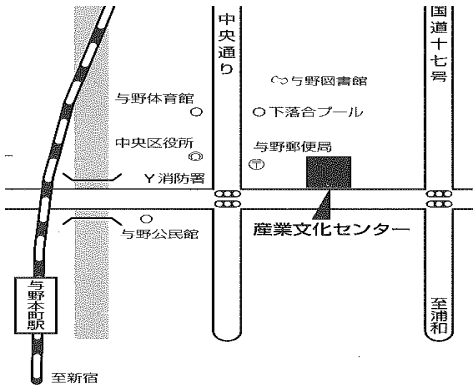
2.「全国研in埼玉　東北応援募金」（１世帯100円をめやすに）を集めましょう
なるべく８月末までに、県連協事務局までお送り下さい。

3. 担当課や議員、関係団体へも知らせて、参加してもらいましょう。
さいたま市では、担当課に「全国研in埼玉」を知らせてTシャツを購入してもらったそうです。

4.「全国研in埼玉」Ｔシャツを着て、参加しましょう
実行委員会・企画部では、「全国研in埼玉」Ｔシャツを作成しました。詳しくは、県連協HPを見て下さい。　http://www.sai-gakudou.com/

2. 第２回県連協代表委員会へご出席を！

□日時：９月８日（土）18:00開場　18:15開会
□会場：さいたま市産業文化センター302
【交流】①市町村の2013年度予算に対する要望内容ととりくみ等、地域の動き　②「全国研in埼玉」へのとりくみ
【議題】①県の2013年度予算案等への要望内容の討議　②県連協専従職員の勤務規定（給与表）の提案　③その他



3.『埼玉の学童ほいく～2012年度資料集』（500円）をご活用下さい！（※再掲）

毎年、発行している県内の学童保育のデータ・資料集です。
※ＦＡＸないしＥメールにてお申し込み下さい。

ＦＡＸ送信048（644）1572　**Ｅメール** gakudoust@yahoo.co.jp

（送り先）　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿　メール＿＿＿＿＿＿＿＿

『埼玉の学童ほいく～2012年度資料集』（500円）希望部数

［　　］**部送って下さい。**